

第19回

釣川クリーン作戦

市とむなかた「水と緑の会」では、10月17日(日)、同23日(土)、同24日(日)に釣川クリーン作戦を実施。

各地区コミュニティ運営協議会でも、独自の清掃活動を展開。わたしたちの「命の水・釣川」をみんなの手できれいにしましょう。

●清掃活動の時間帯

▽釣川本流のメイン会場

8:15受付、8:30~9:30実施

*小雨決行。実施の有無は市ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp>か、市役所代表☎(36)1121で確認を

▽コミュニティ主催会場

各地区のコミセンだよりか、コミュニティ運営協議会事務局で確認を

●服装など

清掃活動ができる服装、軍手、ごみ袋を配布

*参加記念品(リサイクル石けん)あり
*下記【地図】【清掃区域など】参照

■問い合わせ先 環境保全課 ☎(36)1130

【地図】



【清掃区域など】

日程	主催	清掃区域	問い合わせ先
10月17日(日)	市、むなかた「水と緑の会」(メイン会場)	本流「●」印の会場(上記地図参照) ①赤間 ②東郷 ③処理場	環境保全課 ☎(36)1130
	吉武コミュニティ	本流(吉武地区) 彼岸花球根植付け	☎(32)5904
	赤間コミュニティ	本流(鍵橋~赤馬橋) 支流(石丸・富地原・名残・徳重・田久・陵蔵寺)	☎(39)7051
	赤間西コミュニティ	貴船川(三郎丸)	☎(38)9506
	自由ヶ丘コミュニティ	自由ヶ丘中央公園(白水池)周辺	☎(32)5594
	河東コミュニティ	山田川・横山川	☎(35)1837
	東郷コミュニティ	八並川・大井川・高瀬川・水町川	☎(36)7711
	日の里コミュニティ	本流3会場の ②東郷	☎(37)1587
	池野コミュニティ	樽見川・牟田川	☎(62)2003
	岬コミュニティ	さつき松原・深浜	☎(62)2656
	神湊コミュニティ	釣川河口(さつき橋周辺)	☎(62)2671
	10月23日(土)	田島コミュニティ	本流(川端堰~砂山橋の川底)
10月24日(日)	南郷コミュニティ	南郷地区内8カ所河川	☎(36)3465

平和と戦争

について考える



「8・6を子どもたちの胸に」と、広島に原爆が投下された8月6日、今年も宗像ユリックス・ハーモニーホールで「むなかた平和のつどい」が開かれました。主催は、宗像地区の教職員が主体のつどい実行委員会。今年には被爆65周年。大勢の市民が集い、核廃絶の動きに関心を寄せ、永遠の平和を願っていました。

原爆で両親と弟を失う ~町並み復元は運命です~

今年の被爆体験の話は、広島市のナック映像センター代表の田邊雅章さん。8歳で親せき宅に疎開中、両親と弟が原爆の直撃を受けました。田邊さんは両親と弟の消息を捜して広島に入り、二次被爆に見舞われました。自宅は現在の原爆ドームの東隣でした。何もかも廃墟と化していたそうです。原爆が一瞬にして市民生活を破壊、辺り一面を焼き尽くしました。

昭和50年、ナック映像センターを設立。原爆の風化を悲しみ、コンピュータグラフィックで原爆

ドーム一帯の復元映画制作に取り組む決意をしました。「復元は被爆前の爆心地を知り尽くしている者の運命です。13年間で300人から聞き取り、忠実に当時の町並みを再現しました。平和公園は、初めから公園だったと誤解している人もいますが、そこは人々が暮らし、歴史や伝統、きずなを大切にしている町でした」。

平成19年、国連本部で「爆心地」を上映するなど、「ヒロシマからの平和メッセージ」を発信しています。話は、子どもたちに二度とこのような思いをさせたくないという願いが込められていました。

「原爆の火」を布しばいに ~被爆犠牲者をしのぶ実話~

平和のつどいでは、教職員らの「布しばい」が、特に家族連れの参加者には好評でした。今年のテーマは「原爆の火」。八女市星野村の山本達雄さんが、広島に原爆の火を星野村に持ち帰って灯し続けている実話です。

当時、広島在住の親せきが原爆投下で被爆し亡くなりました。山本さんは燃え続けていた原爆の火を遺品・形見として持ち帰りました。

家族で23年間、守り続けられた火は昭和43年、全村民の要望で平和を願う供養の火として、当時の星野村が、星のふるさと公園内に「平和の塔」を建立しました。同塔の上部には「原爆の火」が設置され燃え続けています。

取材に訪れた8月19日、塔内に大きな「折鶴」が飾られていました。一帯は茶畑などに囲まれた高台で、のどかなたたずまいの平和の里です。

上演された布しばいは、高さ

1.8m、横3m

の12枚。教育会館で7月21日から4日間、総勢

103人がデザイン

や絵つけ作業に参加しました。福岡

教育大学の韓国や

中国、カザフスタンからの留学生6

人と、水巻町の

福田靖恵さん(小学6年)は、布

しばい制作のボランティア募集を市

広報紙で知り、応援にかけつけまし

た。平和の喜び、

尊さがにじみ出た、見事な作品が

完成しました。

本番では、小学生や大学生、教

職員ら20人が熱演、盛大な拍手

を浴びていました。



布しばい「原爆の火」



布しばい制作する福田さん(右端)ら

——市と連携、市民と平和を考える——

7月30日から8月5日まで、市役所ロビーに原爆資料や写真、平和へのメッセージなどを展示、市民とともに平和について考える場を設けました。

6月市議会で非核・平和都市宣言が決議。平成3年、旧宗像市では決議されていましたが、玄海町

と大島村との合併で効力が失われ、改めて新市として非核・平和都市宣言が決議されました。

(市民記者 原きよし)

■問い合わせ先

教職員組合宗像支部

☎(36)2203